

第3回報告&第4回の予定

梅崎靖志（うめちゃん）

集合時間に集まって来ると、まず昼食の下ごしらえです。野菜を刻む子、お米を研ぐ子、火をおこす子と、思い思いの役割を手分けしながら、一通りの準備をしました。

指先を丸めて猫の手で切るんだよ



さて、今回の活動は森の土にすむ生き物調査です。この調査をすると、すんでいる生き物の種類によって森の自然度を測ることができます。いつも活動している森は、子どもたちが走り回って土が少し固めのようなので、今回は隣の森におじゃまして調査を行いました。

まず、調査の方法について説明。4～5人のグループに分かれて、50cm四方の枠を地面に設置して、そこの落ち葉と土の中に、どんな虫たちがいるか探して記録します。

土を掘ってみると、クモやアリ、小さなムカデなど、たくさんの小さな生き物たちが見つかります。中には、羽化間近のセミの幼虫を見つけたグループもありました！



調査票はこうやって使うんだ



もうすぐ成虫になるセミの幼虫



ルーペを使って生き物をチェック！

虫の種類によって1点、3点、5点の点数がつきます。見つけた虫をイラストと見比べながら検索して、調査用紙に記入します。各グループで調査票を完成させたら、最後に全体で情報を集約して、森全体で見つかった生き物の点数から自然度を評価します。集計したら、なんと80点以上の高得点！多少の検索間違いには目をつむるとしても、熱心に観察する集中力には脱帽です。調査時間の延長を要求するほど、みんな熱心に調査を楽しんでいました。



見つけた生き物を調査用紙に記入

次回は、夜の活動する昆虫たちをおびき寄せて観察する、ライトトラップを行います。運がよければ、セミの羽化シーンも見られるかも知れません。お楽しみに！